

# 木部

公共仕様No.  
DNT-改修・5-1-06

## 7章5節：クリヤラッカー塗り(CL) クリヤラッカー塗り

### 使用材料一覧表

規格 一般名称	商品名	ホルムアルデヒド 放散等級	希釈剤
1 社内規格 <sup>※1</sup> ニトロセルロースラッカー	DNTラッカーECO	—	ラッカーシンナーECO

※1: JIS K 5531の性能試験項目には社内試験で合格していますが、当社ではJIS K 5531の新JISを取得していません。

### 塗装仕様

表7.2.1 木部の下地調整【RC種】

工程	塗料その他			面の処理
	規格番号	規格名称	種類	
1 汚れ、付着物除去	—			木部を傷つけないように除去し、油類は溶剤等でふき取る。
2 研磨紙ざり	研磨紙P240～320			露出素地面、既存塗膜面を研磨する。

(注) 1. やに処理は、やにを、削り取り又は電気こて焼きのうえ、溶剤等でふき取る。

2. ラワン、しおじ等導管の深いもの場合は、必要に応じて、工程1ののちに塗料製造所の指定する目止め処理を行う。

表7.5.1 クリヤラッカー塗り【B種】

工程	商品名	色相	混合比率 (重量比)	希釈率(%) (重量比)	塗装方法	塗付け量 (kg/m <sup>2</sup> /回)	塗装間隔 (20℃)
1 下塗り	ウッドシーラー <sup>※</sup>	クリヤー	—	適量	スプレー	0.10	2時間以上
2 研磨紙ざり	研磨紙P220～240						清掃後
3 上塗り	DNTラッカーECO	クリヤー	—	60～100	スプレー	0.10	40分以上
4 仕上げ塗り	DNTラッカーECO	クリヤー	—	60～100	スプレー	0.09	—

(注) 着色兼用目止めとする場合は、工程2を省略する。

※ ウッドシーラー、サンジグシーラーは弊社では製造していません。ご了承ください。

#### 7.2.2 木部の下地調整

(a) 木部の下地調整は、表7.2.1により、種別は、特記による。特記がなければRB種とする。

(b) 透明塗料塗りの下地調整は、RB種による。ただし、既存塗膜は全面除去する。また必要に応じて、表7.2.1の工程を行ったのち、次の工程を行う。

(1) 着色顔料を用いて着色兼用目止めをする場合は、はけ、へら等を用いて、着色顔料が塗面の木目に十分充填するように塗り付け、へら、

乾いた布等で、色が均一になるように余分の顔料をきれいにふき取る。

(2) 着色剤を用いて着色する場合は、はけ等で色むらの出ないように塗り、塗り面の状態を見計らい、乾いた布でふき取って、色が均一になる

ようにする。

(3) 素地面に、仕上げに支障のあるおそれがある基だしい色むら、汚れ、変色等がある場合は、漂白剤等を用いて修正したのち、水ぶき等により漂白剤を除去し、十分乾燥させる。

#### 7.5.2 クリヤラッカー塗り

クリヤラッカー塗りは表7.5.1により、種別は特記による。特記がなければ、B種とする。

#### 注意事項

\* 上記塗付け量は国土交通省 公共建築改修工事標準仕様書(建築工事編)平成28年版に掲載されている数値です。

そのため実際の塗付け量は被塗物の形状や、塗装方法、環境によって増減することがあります。

\* 商品の詳細、塗装上の注意事項につきましては、カタログ、単品説明書などを参照ください。